



朝晩の寒さは厳しいものの、日が沈むのが遅くなり、着実に春が近づいているのを感じる今日この頃。いかがお過ごしでしょうか？

2月と言えば、節分。文字通り「季節を分ける」のが節分です。節分は立春の前日です。2025年の立春は2月3日なので、節分は2月2日です。

ちなみに、立春、夏至、秋分、冬至などの言葉は、「二十四節気」という太陽の動きに基づいたこよみの言葉です。

英語圏にも、季節に関する行事はいろいろあります。春に関するイベントとして有名なのは、「イースター」でしょうか。キリスト教における大切な祝日です。カラフルなタマゴを探す遊び（イースターエッグハンティング）を子どもたちは楽しみます。

春（はる）という言葉は、草木が勢いよく成長することを意味する「張る」から由来しているという説があります。英語で春を表す語はspringです。このspringは、昔の英語のspringanという単語からきているそうです。springanには、「跳ねる、湧き上がる」という意味があるようで、日本語の「張る」説と似ていますね。春はエネルギーがあふれる、みなぎる季節なのですね。

国や地域によって、行う行事は異なりますが、「春の訪れを喜ぶ」気持ちは共通なのですね。みなさんは新しい年、新しい春、どんな希望を描きますか？

希望の春、躍動の春、旅立ちの春。みんなで春を楽しみましょう！



イースターエッグの作り方



- ①卵を準備する
ゆで卵の場合：卵を沸騰したお湯で10分ほど茹でて冷ます。
空の殻を使いたい場合：生卵の上下に小さな穴を開け、中身を吹き出して殻を洗浄・乾燥させます。
- ②染料を準備
カップに水を1/2カップ程度入れ、食用色素を数滴加えます。お酢を大さじ1加えると色がより鮮やかになります。
- ③卵を染める
卵を染料に浸し、好きな濃さになるまで放置します（5～10分程度）。複数の色を使う場合は、卵の一部を染めた後、別の色に浸します。
- ④装飾する
染めた卵が乾いたら、ペイントやマジックで模様を描いたり、ステッカーやリボンで飾ります。

今月の言葉



“The earth laughs in flowers.”
「地球は花となって笑う。」



春に咲く花々は、地球の笑顔であり、笑い声なんですね。詩人ってすごい！
梅、桃、桜、チューリップ、タンポポ。植物たちも春の訪れを祝福しています！